

市町名 江津市



- 1 施設名 旧江津郵便局舎
- 2 施設場所 江津市江津町 本町地区
- 3 事業主体 江津市

4 施設の概要（建築に至った背景、施設の目的、必要性）

旧江津本町郵便局は、街環事業にて外部改修を行い地域のランドマークとしての役割を果たしている。また有形登録文化財となり、歴史的資源としてもその価値が認められたが、内部は未改修のままであり、その機能を十分果たしているとは言えない状況であった。

そこで、局舎および下屋の床、壁、天井を県産木材で整備することで利用価値を高め、イベント時の拠点として活用するなど地域住民と来訪者の交流の場とすることとなった。

5 施設規模

内装木質化床面積 88.27 m<sup>2</sup> 階数 2F 木材利用量 5.2575 m<sup>3</sup>

6 事業費 5,145,000 円

7 写真



8 木材利用において工夫・考慮した点

内装木質化事業ということもあり、木材利用率を高めるため腰壁に木材を使用するだけでなく、県産材による「漆喰ボード」を使用。壁面全面を木質化している。

また、有形登録文化財としての歴史的価値を損なわないよう既存の梁や石造りの踏込を活かした設計となっている。

9 施設の特徴（アピールする点）

内装を新装したにもかかわらず、漆喰ボードと既存の梁、照明などの風合いが文化財が持つ歴史的雰囲気と調和し、大正時代の面影を存分に感じさせる空間となっている。